



第1103号  
2008年11月30日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nsk.org](mailto:comm.tko@nsk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

**12月の代祷・信施奉献先**  
▽聖書の主日(降臨節第2主日12月7日)▽野宿生活者支援のため▽世界エイズデー▽部落解放キリスト者運動のため  
《奉献先から》

**世界エイズデー**

12月1日は世界中でHIVに思いを寄せる日となっています。HIV/AIDSというと、途上国や特別な人達の病気と考える人も多いと思いますが、現在日本には約1万6千人のHIV陽性者がいます。HIVを持つている人も持つていない人も、私達は同じコミュニティで、すでに共に生きていくのです。陽性者の方から聞くのは、自分がいない前提になっている社会の理解の中では、周囲に秘密を抱えざるを得ない苦しみで

す。NPO法人ふれいす東京は、誰もが自分のことを伝えられ、自分らしく生きられる社会になることを希望しながら、電話や対面による相談など地域での地道な活動を続けています。(ふれいす東京代表池上千寿子)

**《オルガンコンサート&夕の祈**

▽聖路加国際病院礼拝堂定例

12月3日(水)、18時半、19時からそれぞれ行われる。演奏者 秀村知子。入場無料(会場献金)。  
◆としえの平安  
11月2日 甲斐荘正美(85)  
11月13日 難波 とよ(76)  
11月17日 足立 義雄(72)  
聖ガブリエル

**今週・来週の予定**

11月30日~12月13日

- 30(日) 降臨節第1主日  
主教巡回 目白聖公会  
城南G教会協議会 (聖ミカエル)  
下町G教会協議会(聖救主)  
世界エイズデー礼拝 (聖バルナバ)
- 12月  
3(水) 教区企画室  
4(木) 聖職養成委員会  
芝公園~特別委員会  
下町G牧師協議会(月島)
- 7(日) 降臨節第2主日  
主教巡回  
東京聖マリア教会
- 9(火) 銀座朝拝会  
常置委員会  
IT~特別委員会  
人権委:日の丸・君が代
- 10(水) エルサレム教区協働委員会
- 11(木) 財政委員会  
月島~特別委員会
- 12(金) 外濠G牧師協議会(諸聖徒)  
多摩G牧師協議会(八王子)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

社団法人日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)は、戦前からキリスト教信仰の伝え手として活躍、戦後は早い時期にその働きを継承して今日に至っている。

教会の勢いと同じで、現在は平均年齢も上がり、戦前と異なり婦人方の賛助会員としての活動もみられている。

皆さんご存知の清

《恵みに生かされて》

**奉仕出来る事が  
神の御恵み**

里の清泉寮は、BSAが母体となり設立され、キープ協会が運営し、青少年のための各種活動を行い、今では一大研修交流地となつている。戦後物資の無い頃、お米を担いでこの地の道路補修に多くの学生と共に奉仕をした。今日の姿を見る度に感傷的になる。

大久保忠昭

「一人が一人を」との合言葉で多くの友をキリストの許に連れて来て御国

の拡張を図った。立教大学、慶応大学に支部を創り活発な運動をしたのは50年代から70年代までであったようだ。現在全国に十三の支部と支部に属さない会員、賛助会員が居り、立教大学にはクラブ活動の支部が一つある。  
教会では宣教といえは聖職の仕事と理解している人もあるようだが、BSAでは会員一人一人が宣教の担い手として、新しい友をキリストの許に招き、信仰への道へのお手伝いをするを常に考え行動している。「祈祷と奉仕」は私達に与えられた任務であり、それを行うことで御国を広めることが出来るし、その事が幸いとお恵みであると考える。BSAの働きをこれからも豊かなお恵みの内に進めたい。

(BSA本部理事)

## 教区会、09年度活動に向けて

11月24日(月・休日)、予定通り第107(定期)教区会が開かれた。教役者議員46人中39人、信徒代議員71人中62人(いずれも第1回点呼時)、番外議員・職務関係者20数人が出席。

植田主教の開会演説(追って特集号発刊予定)の直後、「聖公会神学院人権問題調査チーム報告書を受けて」常置委員会見解の報告・説明(次号で解説予定)があり、09年度諸活動計画案の説明・承認審議、議案審議とつづいて16時半、閉会した。審議議案は5件で、09年度教区収支予算案のほか、「ハラスメント防止機関・相談窓口」設置案、「日の丸・君が代」強制即時中止声明文採択案などが、質

疑と意見交換を経て可決した(議案名は略称)12月に入り順次、解説記事掲載を予定)。

### ▽八王子復活教会百周年記念

《クリスマスコンサート》スペインのクリスマス曲によせて》12月6日(土) 14時、出演||石井三栄子(Vo)・小野田良子(Or)。チケット||2千円(全席自由)。Tel 042(642)6105。

### ▽目白聖公会創立90周年記念

《クリスマスコンサート》12月7日(日) 14時、出演||同教会聖歌隊、バロック・アンサンブル。入場無料。Tel 03(3951)5010。

### ▽東京聖マリア教会《平和を祈るクリスマス・コンサート》

7日(日) 14時、出演||コンビーニ・デイ・クリスタ・クリスマス聖歌のしらべ。入場無料。会場献金(2施設へ奉献)。Tel 03(3492)2982。

▽外濠グループと教区「障がい者」関連活動委員会共催《みんなでつくるバリアフリーのクリスマスパーティー》13日(土) 13時20分~16時、聖バルナバ教会で。参加費500円、定員50人、申込みは6日まで会場教会へ、Tel 03(5228)3198。信仰と生活委員会後援。

▽教区・一粒の麦の会《植田仁太郎主教による「ランベスよもやま話》11日(木) 14時、教区会館3F。「主教と親しく話が出来る場に...」と。参加無料。照会などは教区事務所へ。

## 【学びと働きから】92

### 韓国から学ぶ

財政委員会、企画室合同で10月18日から3泊4日の日程で、立教大学チャプレン柳時京(ユ・シギョン)司祭をコーディネーターとして、財政委員長他7人、企画室2人がソウルを訪問した。

1つの目的として、ソウル教区の宣教、教会の形成、信生活等について教務局長イ・ギョンホ(李京浩)司祭に、実際の数字の資料等も見せていただき講義を受けた。2つ目には、財政運営について管財部長キム・ウオンシク(金元植)氏から、仕組み、考え方等について、説明を受けた。3つ目には、聖職養成について聖職養成委員長、聖公会大学総長ヤン・クオンソク(梁権錫)

司祭から講義を受けた。その他、初めて聖公会の信仰が伝えられた

江華島の教会等も見学させて頂いた。教務局長のお話の中では、信徒教育、聖職の牧会支援事業がとても大切にされている様子が印象的だった。教役者は聖公会大学との協力で年1回のリトリート、ワークショップ、また、夫人のリトリート等も行われるとのこと。

管財部長のお話からは、韓国の教会では収入の10%を目標に月約献金の額を予め申告、牧師はその予定が滞りなく進んでいるか、即ちその信徒の信仰生活が支障なく在るかを牧会の視点に置くとのこと。予算の使い方では、分かち合い事業、聖公会大学等宣教支援費に31%割かれて、教区分担金は、教会の状況により8レベルの区分

がされているとのこと。

総長のお話では、民主化に向けてキリスト教も共に歩んできたこと、福音とは人間、社会、未来を創るためにとの視点で学び、更に苦しむアジアに学生を送りヴィジョンを持てるよう、競り合うのではなく、分かち合う、一緒に歩ける人材を育てたいと伺った。

また、後継主教キム・グンサン(金根祥)主教は「若者の集まる教会」「レビ人と共に」「聖職を管理者ではなく、実践型の牧会者としてもっと育てたい」、そして誰かに期待するのではなく、各教会が何かを出来るよう、課題があると聞いたことは解決を見つける入り口にいるのだから、積極的に行きましょうと励まされた。

教区企画室委員 小野 翠